

1.	④	11.	①	21.	①	31.	③	41.	②
2.	③	12.	①	22.	③	32.	②	42.	②
3.	②	13.	③	23.	④	33.	④	43.	①
4.	④	14.	②	24.	③	34.	②	44.	②
5.	①	15.	①	25.	①	35.	②	45.	③
6.	②	16.	②	26.	③	36.	①	46.	③
7.	③	17.	①	27.	①	37.	④	47.	③
8.	①	18.	③	28.	②	38.	③	48.	②
9.	③	19.	②	29.	①	39.	③	49.	③
10.	④	20.	③	30.	①	40.	④	50.	④

1.

解答 ④

【解説】

正解は④の **unpack** です。**unpack** は、旅行かばんなどから中身を「取り出す、荷を解く」という意味の動詞です。I need to unpack my suitcase as soon as I get to the hotel. (ホテルに着いたらすぐにスーツケースの荷物を解かなければならない) のように使います。① **carry** は「～を運ぶ」、② **wrap** は「～を包む」、③ **pack** は「～を荷造りする」という意味で、**pack** は **unpack** の正反対の動作を表す対義語です。

◆補足：**unpack** の **un-** は、**undo** (元に戻す) や **unlock** (鍵を開ける) の **un-** と同じで、直後の動詞の行為を「逆にする」という意味を持つ接頭辞です。このルールを知っていると、**pack** (荷造りする) の逆の行為が **unpack** (荷解きする) であると容易に推測できます。このように、接頭辞の意味を知るとは語彙を効率的に増やす上で非常に役立ちます。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③の **happen to do** です。この表現は、意図せず「たまたま～する、偶然～する」という意味を表します。I happened to find my lost keys under the sofa. (私は偶然、ソファの下でなくした鍵を見つけた) のように使います。① **tend to do** は「～しがちである、～する傾向がある」、② **seem to do** は「～するように思われる」、④ **manage to do** は「何とかして～する」という意味で、いずれも **to** 不定詞を伴う重要表現ですが意味は異なります。

◆補足：**happen to do** は、**by chance** (偶然に) という副詞句を使った文とほぼ同じ意味を表します。Do you happen to know his phone number? (ひょっとして彼の電話番号を知りませんか?) のよう

に、質問文で使うと「もしかして～」と、相手が知らない可能性を考慮した丁寧な尋ね方になります。
この使い方は会話で非常に便利です。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「招待」です。invitation は、パーティー、結婚式、会議などのイベントに来てほしいと、誰かに公式または非公式に頼むこと、すなわち「招待、招待状」を意味します。Thank you for the kind invitation to your party. (パーティーへのご親切なご招待ありがとうございます) のように使います。

①「許可」は permission、③「約束」は promise、④「予約」は reservation や appointment が対応します。

◆補足：invitation は、動詞 invite (～を招待する) の名詞形です。invite A to B で「A を B に招待する」という形をとり、I was invited to her wedding. (私は彼女の結婚式に招待された) のように受動態で使われることも多いです。動詞と名詞をセットで覚えることで、語彙のネットワークが広がります。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「(乗り物に) 乗って」です。on board は、船、飛行機、列車、バスといった乗り物に「乗船して、搭乗して」という意味を表す表現です。Welcome on board! (ご搭乗(ご乗船)ありがとうございます!) は、乗客を迎える際の決まり文句です。①「海外へ」は abroad、②「勤務中で」は on duty、③「賛成して」は in favor of ~などで表されます。

◆補足：on board には、この物理的な意味から転じて、比喩的に「(計画やチームなどに) 参加して、賛同して」という意味もあります。これは、同じ船に乗っている仲間、というイメージから来ています。Is everyone on board with the new plan? (新しい計画に、みんな賛成ですか?) のように、ビジネスの場面などで頻繁に使われる重要表現です。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「増加する」です。increase は、数量、価格、大きさなどが「増える」、あるいはそれらを「増やす」という意味で使われる動詞です。The population of this city has increased by 10% over the last five years. (この都市の人口は、過去 5 年間で 10%増加した) のように使います。②「変化する」

は **change**、③「維持する」は **maintain**、④「減少する」は **decrease** で、特に **decrease** は **increase** の直接的な対義語です。

◆**補足**：**increase** は、**The company decided to increase prices.**（会社は価格を上げることを決定した）のように目的語を取る他動詞としても、**Prices have increased.**（価格が上がった）のように目的語を取らない自動詞としても使えます。また、名詞としても「増加」という意味で使われますが、その場合の発音は /ɪnkrɪːs/（インクリース）と前にアクセントが来るのに対し、動詞の発音は /ɪnkrɪːs/（インクリース）と後ろに来るという違いがあります。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「いつも、常に」です。**at all times** は、**always** と同じく「いつでも、常に」という意味を表しますが、よりフォーマルで、規則や指示、注意事項などで使われることが多い表現です。**This door must be kept locked at all times.**（このドアは常に施錠しておかなければならない）のように使います。①「同時に」は **at the same time**、③「最終的には」は **in the end**、④「時々」は **at times** が対応します。

◆**補足**：**at all times** は「全ての時において」と直訳でき、その意味が理解しやすいでしょう。**any time**（いつでも）とも似ていますが、**at all times** は例外なく「常に」というニュアンスを強調します。対義語としては **at no time**（いかなるときも～ない）という強い否定表現があります。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③の **eliminate** です。**eliminate** は、不要または不適合な人や物を、集団や場所から完全に取り除くこと、すなわち「～を排除する、除去する」という意味の動詞です。**Our team was eliminated in the first round of the tournament.**（我々のチームは、トーナメントの一回戦で敗退した）のように使います。① **reduce** は「～を減らす」、② **include** は「～を含める」という対義語、④ **ignore** は「～を無視する」という意味です。

◆**補足**：**eliminate** の語源は、ラテン語の **e-**（外へ）と **limen**（敷居）から成り立っており、「敷居の外へ出す」というのが元々のイメージです。このイメージから、不要なものを完全に取り除くという強い意味合いを持つようになりました。名詞形は **elimination**（排除、除去）です。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①の **let ~ down** です。この句動詞は、相手の期待に応えられず、「～を失望させる、がっかりさせる」という意味を表します。I promised to help her, so I can't let her down. (彼女を助けると約束したので、がっかりさせるわけにはいかない) のように使います。② **bring ~ up** は「～を育てる」、③ **put ~ down** は「～をけなす」、④ **cheer ~ up** は「～を元気づける」という意味で、①とは逆の表現です。

◆補足：let ~ down は、動詞 **disappoint** とほぼ同じ意味ですが、より口語的で、個人的な関係性における「裏切り」や「期待外れ」のニュアンスが強いです。You really let me down. (君には本当にがっかりしたよ) のように、信頼していた相手に対して使われることが多いです。let-let-let と活用が変化しない点も確認しておきましょう。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③の **attend** です。**attend** は、会議、授業、結婚式、コンサートなどの公式な集まりやイベントに「出席する、参加する」という意味の動詞です。All employees are required to attend the annual meeting. (全従業員は年次会議への出席を求められている) のように使います。① **invite** は「～を招待する」、② **cancel** は「～を中止する」、④ **join** は「(組織など)に加わる」という意味です。

◆補足：**attend** と **join** はどちらも「参加する」と訳せますが、ニュアンスが異なります。**attend** は、特定のイベントや会合に「その場にいること」を指します。一方、**join** は、クラブや会社、グループなどの一員として「加わる」ことを意味します。つまり、You join a club, and then you attend its meetings. (クラブに加入し、その会合に出席する) という関係になります。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④の **negotiate** です。**negotiate** は、合意に達するために、対立する当事者間で公式に話し合うこと、すなわち「交渉する」という意味の動詞です。The company is negotiating a new contract with the labor union. (会社は労働組合と新しい契約について交渉している) のように使います。① **discuss** は「～について話し合う、議論する」、② **decide** は「～を決定する」、③ **argue** は「口論する、主張する」という意味です。

◆補足：**negotiate** は、ビジネスや外交など、フォーマルな場面で合意形成を目指す話し合いに使われます。単に話し合う **discuss** とは異なり、利害が対立する中で妥協点を見出す、という目的意識が強いのが特徴です。名詞形は **negotiation** (交渉) で、a peace negotiation (和平交渉) のように使われます。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「予報」です。forecast は、入手可能な情報に基づいて、将来の出来事を予測すること、特に天候や経済の「予報、予測」を指す名詞です。According to the weather forecast, it will rain tomorrow. (天気予報によると、明日は雨が降るでしょう) のように使います。②「結果」は result、③「記録」は record、④「報告」は report が対応します。

◆補足：forecast は、fore- (前に) と cast (投げる) という二つの部分から成り立っています。これは、未来に向かって情報を「前もって投げる」というイメージで、「予測する」という意味につながっています。動詞としても同じ形で使われ (They forecast a rise in sales.)、過去形・過去分詞形も forecast のまま変化しないことが多いです (forecast-forecast-forecast)。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を再建する」です。rebuild は、破壊されたり損傷したりした建物を、もう一度建て直すこと、すなわち「～を再建する」という意味の動詞です。The city was completely rebuilt after the war. (その都市は戦後、完全に再建された) のように使います。②「～を改修する」は renovate、③「～を解体する」は demolish、④「～を設計する」は design です。

◆補足：rebuild の接頭辞 re- は、「再び」を意味します。build (建てる) に re- が付くことで、「再び建てる」つまり「再建する」という意味になります。このように、接頭辞の意味を知っていると、知らない単語でも意味を推測しやすくなります。re- がつく他の単語には、reread (読み返す)、reuse (再利用する)、recycle (リサイクルする) などがあります。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③の be devoted to ~ です。この表現は、ある人や活動、目的などに対して、時間や労力、愛情のすべてを捧げている状態、すなわち「～に献身している、専念している」ことを表します。She is devoted to her children. (彼女は子供たちに献身的だ) のように使います。① be tired of ~ は「～にうんざりしている」、② be involved in ~ は「～に関わっている」、④ be known for ~ は「～で知られている」という意味です。

◆補足：be devoted to ~ の to は前置詞であるという点が非常に重要です。したがって、後ろに動詞が続く場合は、to do ではなく to doing の形になります。He is devoted to helping people in need. (彼は困っている人々を助けることに身を捧げている)。この to が不定詞か前置詞かを見分ける問題は、文法問題の頻出パターンです。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の **apply** です。**apply** は、仕事、役職、あるいは大学の入学許可などを得るために、公式に「応募する、申し込む、出願する」という意味で使われます。**She decided to apply for a job at the new company.**（彼女はその新しい会社の仕事に応募することに決めた）のように用います。① **join** は「～に参加する」、③ **attend** は「～に出席する」、④ **quit** は「～を辞める」という意味で、文脈に合いません。

◆補足：**apply** は、**apply for** ～（職や許可などを求めて応募する）と **apply to** ～（組織や大学などに応募する）という前置詞の使い分けが重要です。また、この単語には「（規則や理論などを）適用する、応用する」や「（薬などを）塗る」といった、全く異なる意味もあります。文脈に応じて意味を判断する力が必要です。名詞形は **application**（申し込み、応募、適用）です。

15.

解答 ①

【解説】

正解は①「住民」です。**resident** は、ある特定の場所（家、アパート、地域、国など）に法的に、あるいは恒久的に住んでいる人、すなわち「居住者、住民」を指します。**Local residents have complained about the noise.**（地元の住民たちが、その騒音について苦情を述べている）のように使います。②「観光客」は **tourist**、③「訪問者」は **visitor**、④「市民」は **citizen** です。

◆補足：**resident** と **citizen** は混同しやすいので注意が必要です。**citizen** は、その国の国籍を持ち、法的な権利（選挙権など）を持つ「国民、市民」を指します。一方、**resident** は、国籍を問わず、単にその土地に「住んでいる人」を指します。例えば、日本に住む外国人は、**Japanese citizen** ではありませんが、**a resident of Japan** です。動詞形は **reside**（居住する）です。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②の **relatively** です。**relatively** は、何か他のものと比較して「比較的、割合に」と述べる際に使われる副詞です。**This smartphone is relatively inexpensive compared to other models.**（このスマートフォンは、他のモデルと比べて比較的安い）のように用います。① **personally** は「個人的に」、③ **surprisingly** は「驚くほど」、④ **absolutely** は「絶対に」という意味で、いずれも文脈に合いません。

◆補足：**relatively** は、形容詞の **relative**（相対的な）から派生した副詞です。何かが絶対的な基準で良い・悪い、大きい・小さいと述べるのではなく、何かと比較した上での評価であることを示します。

The test was relatively easy. と言えば、「(予想していたよりも、あるいは前回のテストよりも) 比較的簡単だった」というニュアンスになります。客観性を保ちつつ、物事を評価する際に便利な言葉です。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①の **drop in** です。この句動詞は、特に事前の約束なしに、誰かの家や職場などを短時間「ふらっと訪れる、立ち寄る」という意味で使われます。Feel free to drop in for a cup of coffee anytime.

(いつでも気軽にコーヒーを飲みに立ち寄ってくださいね) のように用います。② **check in** は「(ホテルや空港で) 手続きをする」、③ **give in** は「屈服する」、④ **break in** は「(建物に) 不法侵入する」という意味です。

◆補足: **drop in** と似た表現に、**stop by** や **come by** があります。いずれも「立ち寄る」という意味で、日常会話でよく使われる口語的な表現です。**drop in on** (人) や **drop in at** (場所) のように、後ろに前置詞を伴って、誰のところに、あるいはどこに立ち寄ったのかを明確にすることもできます。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③の **book** です。**book** は、動詞として、ホテルの部屋、航空券、コンサートのチケットなどを「予約する」という意味で非常に一般的に使われます。I booked a flight to New York online. (私はオンラインでニューヨーク行きの航空券を予約した) のように用います。① **buy** は「～を買う」、② **rent** は「～を賃借する」、④ **choose** は「～を選ぶ」という意味です。

◆補足: **book** は名詞としては「本」という意味で最もよく知られていますが、動詞の「予約する」も同じくらい重要です。**book** と **reserve** はほぼ同じ意味で使えますが、特にイギリス英語では **book** の方がより一般的に使われる傾向があります。名詞形は **booking** (予約) で、a hotel booking (ホテルの予約) のように使われます。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②「非常勤の」です。**part-time** は、正規の労働時間よりも短い時間だけ働くことを指し、形容詞として「非常勤の、パートタイムの」、副詞として「非常勤で」という意味で使われます。She is looking for a part-time job. (彼女はパートタイムの仕事を探している) のように用います。①「常勤の」は **full-time** で、**part-time** の直接的な対義語です。③「臨時の」は **temporary**、④「無給の」は **unpaid** が対応します。

◆補足：part-time は、a part-time worker（パートタイム労働者）のように名詞を修飾する形容詞として、また、He works part-time at a convenience store.（彼はコンビニでパートタイムで働いている）のように動詞を修飾する副詞としても使えます。ハイフンを付けずに part time と書かれることもあります。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③の be expecting です。この表現は、be pregnant（妊娠している）と同じ意味ですが、より間接的で丁寧な言い方です。文字通り「(赤ちゃんを) 予期している、待っている」という意味から、「妊娠中である、出産予定である」ことを示します。They are expecting their first child in May.（彼らは5月に第一子が産まれる予定だ）のように使います。① be delivering は「出産している（最中だ）」、② be born は「生まれる」、④ be raising は「育てている」という意味です。

◆補足：be expecting は、be expecting a baby の a baby を省略した形です。会話では、"When are you expecting?"（出産予定はいつですか？）のように、出産予定日を尋ねる際の決まり文句として非常によく使われます。pregnant が医学的な状態を客観的に述べるのに対し、be expecting はこれから家族が増えることへの期待感といった、より温かいニュアンスを含むことがあります。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を共有する」です。share は、部屋、食べ物、情報、意見などを、複数の人やグループで「共有する、分け合う」という意味の動詞です。The two sisters share a bedroom.（その姉妹は寝室を共有している）のように使います。②「～を独占する」は monopolize、③「～を隠す」は hide、④「～を交換する」は exchange が対応する単語です。

◆補足：share は、物理的なものを分け合うだけでなく、We shared our thoughts on the issue.（私たちはその問題について互いの考えを共有した）のように、考えや感情、経験などを「分かち合う」という意味でも頻繁に使われます。また、名詞としては「分け前、割り当て」という意味があり、market share（市場占有率）のようなビジネス用語でも重要です。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「旅行（という行為）」です。travel は、ある場所から別の場所へ移動すること、すなわち「旅行」という一般的な行為そのものを指す、数えられない名詞（不可算名詞）です。Air travel has

become much cheaper in recent years. (近年、空の旅はずっと安くなった) のように、抽象的な概念として使われます。①「旅程」は *itinerary*、②「荷物」は *luggage*、④「特定の旅行」は *a trip* で表されます。

◆補足：travel, trip, tour の使い分けをまとめると、travel は「旅行という概念・行為そのもの」(不可算名詞)、trip は「行って帰ってくる個別の旅行」(可算名詞)、tour は「複数の場所を巡る周遊旅行」(可算名詞) となります。この区別は非常に重要です。また、travel は「旅行する」という動詞としても使われます。I love to travel. (私は旅行するのが大好きだ)。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④の take A for B です。この表現は、人や物を誤って認識し、「A を B だと (誤って) 思う、見なす」という意味で使われます。I'm sorry, I took you for your brother. (すみません、あなたをお兄さんだと見間違えました) のように用います。①「A を B から取る」、②「A に似ている」、③「A を B へ連れて行く」という意味で、いずれも take を使った表現ですが意味が異なります。

◆補足：take A for B は、mistake A for B とほぼ同じ意味で使うことができます。for は「～として」という役割や性質を表す前置詞です。A を B 「として」take (受け取る、解釈する) という直訳から、「A を B と勘違いする」という意味につながると考えると理解しやすいでしょう。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「個人的な」です。personal は、特定の一個人に関係する、私的な事柄を指す形容詞です。Please do not ask me such personal questions. (そのような個人的な質問はしないでください) のように使います。①「普遍的な」は universal、②「公式の」は official、④「公共の」は public で、いずれも personal とは対照的な、社会や集団に関わる概念を表す言葉です。

◆補足：personal は、名詞 person (人) の形容詞形です。personal opinion (個人的な意見) や personal information (個人情報) など、様々な名詞と結びついて使われます。よく似た綴りの単語に personnel /ˌpɜːrsoʊˈnel/ (人事部、職員) がありますが、これは全く意味が異なるので混同しないように注意が必要です。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「喜んで～する」です。be willing to do は、頼まれたことなどに対して、嫌な顔一つせず「快く～する、～するのをいとわない」という、前向きな意志や自発的な気持ちを表す表現です。He is willing to help anyone who is in need. (彼は困っている人なら誰でも喜んで助ける) のように使います。②「～しそうである」は be likely to do、③「～することになっている」は be supposed to do、④「～したがる」は be unwilling to do で、be unwilling to do は対義表現にあたります。

◆補足：be willing to do の willing は「意欲的な」という意味の形容詞です。will (意志) という単語が含まれていることから、「～する意志がある」というニュアンスが読み取れます。単に「できる」という意味の be able to do とは異なり、そこに本人の積極的な気持ちが含まれている点がポイントです。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③の at the same time です。この表現は、二つの出来事が文字通り「同時に、一斉に」起こることを示します。The two bells rang at the same time. (二つのベルが同時に鳴った) のように使います。① from time to time は「時々」、② all the time は「いつも」、④ in the meantime は「その間に」という意味で、いずれも時間に関する重要表現ですが意味が異なります。

◆補足：at the same time には、もう一つ重要な意味があります。それは、「その一方で、しかしながら」という、前述の内容と対照的な事柄を導入する接続副詞としての用法です。He is a very smart student, but at the same time, he can be a little lazy. (彼はとても賢い生徒だが、その一方で、少し怠け者なところもある)。この用法は、長文読解などで論理展開を追う上で非常に重要です。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①の locate です。locate は、人や物の正確な位置を「探し出す、突き止める」という意味の動詞です。The police are trying to locate the missing child. (警察はその行方不明の子供の居場所を突き止めようとしている) のように使います。② lose は「～を失う」、③ move は「～を動かす」、④ hide は「～を隠す」という意味で、いずれも文脈に合いません。

◆補足：locate は、be located in/at ~の形で「～に位置している」という意味で使われることが非常に多いです。This hotel is conveniently located near the station. (このホテルは駅の近くという便利な場所にあります) のように、建物や施設の所在地を表す際の定番表現です。名詞形は location (場所、位置) で、こちらも必須の単語です。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②「利子」です。interest は、「興味、関心」という意味で最もよく知られていますが、金融の文脈では、借りたお金に対して支払う、あるいは預けたお金に対して受け取る「利子、利息」を意味します。The bank pays 2% interest on savings accounts. (その銀行は普通預金に 2% の利子を支払う) のように使います。①「利益」は profit、③「手数料」は fee、④「現金」は cash が対応します。

◆補足：interest は多義語の代表例です。「興味」と「利子」という、一見全く関係のない二つの意味を持つことをしっかり理解しておく必要があります。interest rate (利率) や、simple interest (単利)、compound interest (複利) といった金融用語も、この「利子」の意味から派生しています。文脈によってどちらの意味で使われているかを判断する力が問われます。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「熱心に」です。eagerly は、何かを強く望んでいたり、強い興味を持っていたりして、「熱心に、しきりに」何かを行う様子を表す副詞です。The children were eagerly waiting for the presents. (子供たちはプレゼントを熱心に待っていた) のように使います。②「偶然に」は accidentally、③「静かに」は quietly、④「しぶしぶ」は reluctantly が対応する単語で、reluctantly は eagerly の対義語にあたります。

◆補足：eagerly は、「熱望している」という意味の形容詞 eager から派生した副詞です。be eager to do の形で「しきりに～したがっている」という重要な表現も併せて覚えましょう。He is eager to learn new things. (彼は新しいことを学びたがっている)。類義語の anxiously も「熱心に」と訳されることがありますが、anxiously には「心配しながら」という不安のニュアンスが含まれるのに対し、eagerly は純粋な期待や興奮を表します。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①の respect です。respect は、人の人格、業績、能力などを高く評価し、「～を尊敬する、尊重する」という意味の動詞です。All students should respect their teachers. (すべての生徒は先生を尊敬すべきだ) のように使います。② trust は「～を信頼する」、③ praise は「～を賞賛する」、④ obey は「～に従う」という意味で、いずれもポジティブな関係性を示す言葉ですが、意味の焦点が異なります。

◆補足：respect は動詞の他に、「尊敬、尊重」という名詞としても使われます。show respect for ~ (～に敬意を払う) や、have respect for ~ (～を尊敬している) といった形で頻繁に使われます。形容詞形は respectful (敬意に満ちた) です。尊敬の対象が物や意見である場合は、「尊重する」と訳すのが適切です。We must respect different cultures. (私たちは異なる文化を尊重しなければならない)。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③の **use up** ~です。この句動詞は、お金、時間、エネルギー、材料などを、残りがなくなるまで完全に「使い果たす、使い切る」という意味です。We used up all the milk, so I need to go to the store. (牛乳を全部使い切ってしまったので、店に行かなければならない) のように用います。① **save up** ~は「～を貯める」、② **put up** ~は「～を建てる」、④ **give up** ~は「～をあきらめる」という意味です。

◆**補足** : **use up** ~と似た表現に **run out of** ~があります。I used up the sugar. (私が砂糖を使い切った) のように、**use up** は能動態で「誰が」使い切ったかに焦点があります。一方、We ran out of sugar. (砂糖が切れた) のように、**run out of** は「(主語が) ~を使い果たした状態にある」という状況に焦点があります。この主語の違いを理解しておきましょう。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「ためらう」です。**hesitate** は、不確かさ、不安、あるいは不本意な気持ちから、何かを言ったり行動したりする前に一瞬立ち止まること、すなわち「ためらう、躊躇する」という意味の動詞です。She hesitated for a moment before answering the question. (彼女はその質問に答える前に、一瞬ためらった) のように使います。①「主張する」は **insist**、③「無視する」は **ignore**、④「決心する」は **decide** が対応します。

◆**補足** : **hesitate to do** の形で、「～するのをためらう」という意味で非常によく使われます。特に、Don't hesitate to ask if you have any questions. (もし質問があれば、遠慮なく尋ねてください) という表現は、相手に安心して質問や依頼をするよう促す際の決まり文句として頻出します。名詞形は **hesitation** (ためらい、躊躇) です。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④の **start up** ~です。この句動詞は、新しいビジネスや組織、プロジェクトなどを「始める、設立する、立ち上げる」という意味で使われます。She started up her own online business last year. (彼女は昨年、自身のオンラインビジネスを立ち上げた) のように用います。① **take over** ~は「～を買収する、引き継ぐ」、② **break into** ~は「(新しい市場など) に参入する」、③ **close down** ~は「～を閉鎖する」という意味で、いずれもビジネス関連の表現ですが意味が異なります。

◆補足：start up ~は、単に start と言うよりも、ゼロから新しい事業を「立ち上げる」というニュアンスを強調します。この表現から派生した名詞 startup (スタートアップ) は、設立されたばかりの新しい企業、特にテクノロジー分野のベンチャー企業を指す言葉として、日本語でも広く使われています。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②「販売促進」です。promotion は「昇進」と「販売促進」という二つの重要な意味を持つ多義語です。この文脈では、"for its new smartphone" (その新しいスマートフォンのための) とあることから、製品の販売を促す「販売促進、プロモーション活動」を指していることがわかります。①「昇進」も promotion の主要な意味ですが、この文脈には合いません。③「推薦」は recommendation、④「契約」は contract が対応します。

◆補足：promotion の二つの意味は、文脈で判断する必要があります。①「昇進」：He received a promotion to manager. (彼は部長に昇進した)。②「販売促進」：We are running a sales promotion campaign. (私たちは販売促進キャンペーンを行っている)。どちらも英検 2 級レベルで必須の重要語です。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「組織、団体」です。organization は、特定の目的のために集まった人々の集団、すなわち「組織、団体、機関」を指す一般的な言葉です。He works for a large international organization. (彼は大きな国際組織で働いている) のように使います。①「会社」は company、③「政府」は government、④「委員会」は committee で、これらはすべて organization の一種ですが、organization はそれらを包括するより広い概念です。

◆補足：organization は、動詞 organize (～を組織する、計画する、整理する) の名詞形です。この動詞は、イベントを「計画する」(organize an event) や、部屋を「整理する」(organize a room) など、幅広い意味で使われる重要単語です。語源は、体の「器官」を意味する organ と同じで、様々な部分が連携して一つの統一体として機能するイメージが元になっています。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①の brush up on ~です。この句動詞は、以前は持っていたが、しばらく使っていなかったために錆びついてしまった知識やスキルを、練習し直して「磨きをかける、学び直す」という意味で使わ

れます。I need to brush up on my French before I go to Paris. (パリに行く前に、フランス語をやり直しておく必要がある) のように用います。② catch up on ~は「~の遅れを取り戻す」、③ give up on ~は「~を見限る」、④ look back on ~は「~を振り返る」という意味です。

◆補足：brush up on ~という表現には、古い家具のほこりをブラシで払って、再び輝きを取り戻すようなイメージがあります。このイメージを持つと、「錆びついたスキルを磨き直す」という意味が理解しやすくなります。前置詞の on は省略されることもあります。brush up on ~の形で覚えておくとい

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「推薦」です。recommendation は、ある人や物、行動などが良い、あるいは適していると「推薦すること、おすすめ」を意味する名詞です。He got the job on his former professor's recommendation. (彼は以前の教授の推薦でその仕事を得た) のように使います。①「批判」は criticism、②「要求」は demand や request、③「指示」は instruction が対応します。

◆補足：recommendation は動詞 recommend (～を推薦する) の名詞形です。I followed your recommendation and tried that new restaurant. (あなたの推薦に従って、あの新しいレストランに行ってみました) のように、人からの「おすすめ」という意味で日常的によく使われます。また、就職や進学の際に必要となる「推薦状」は a letter of recommendation と言います。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③の agency です。agency は、特定のサービスを提供する「代理店」や「取次店」、あるいは政府の「機関」を指す言葉です。I booked my flight through a travel agency. (私は旅行代理店を通して航空券を予約した) のように使います。① branch は「支店」、② office は「事務所」、④ company は「会社」という意味です。agency は、company の一種ですが、他者のために何かを「代行する」という、より専門的なサービスを提供するニュアンスがあります。

◆補足：agency は、ラテン語の agere (行う、作用する) から来ており、「何かを行う主体」が元々の意味です。旅行代理店 (travel agency) は旅行者のために手配を代行し、広告代理店 (advertising agency) は企業のために広告活動を代行します。このように、「誰かの代理として行動する」というイメージを持つと理解しやすいでしょう。また、その業務を行う人は agent (代理人) と呼ばれます。

39.

解答 ③

【解説】

正解は③「代理人」です。agent は、個人や会社の代わりに特定の業務や交渉を行う「代理人」や「代理業者」を指します。a travel agent（旅行代理店員）や a real-estate agent（不動産業者）のように、専門的なサービスを提供する職業名でよく使われます。①「顧客」は customer、②「従業員」は employee、④「競合相手」は competitor が対応します。

◆補足：agent の元々の意味は「作用するもの、行為者」です。ラテン語の agere（行う）に由来し、actor（俳優）や action（行動）などと同じ語源を持っています。本人に代わって「行動する人」というイメージから、「代理人」という意味で定着しました。また、化学の分野では chemical agent（化学薬品）のように「作用するもの」という意味で使われることもあります。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④の congratulation です。congratulation は、相手の成功、達成、幸運などに対して述べる「お祝いの言葉」を指します。通常、Congratulations!のように複数形で使われるのが一般的です。Please accept my sincere congratulations on your wedding.（ご結婚、心からお祝い申し上げます）のように用います。① celebration は「お祝いの会、祝賀」、② ceremony は「式典」、③ compliment は「褒め言葉」を意味します。

◆補足：congratulation は、卒業、結婚、昇進、受賞など、相手が何かを成し遂げたり、喜ばしい節目を迎えたりした際に使われます。一方、compliment は、相手の外見や能力、持ち物などを褒める、より日常的な賞賛の言葉です。動詞は congratulate で、congratulate A on B（B のことで A を祝う）という形で使います。I congratulated him on his success.（私は彼の成功を祝った）。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「(医者などの) 予約」です。appointment は、医者、弁護士、美容師など、専門的なサービスを受けるために、特定の日時に会う約束をすることを指します。I have a dentist's appointment at 3 p.m.（午後3時に歯医者さんの予約があります）のように使います。①「会議」は meeting、③「締め切り」は deadline、④「休暇」は vacation や holiday です。

◆補足：appointment と似た言葉に reservation がありますが、使い分けが重要です。appointment が専門家との「時間の約束」を指すのに対し、reservation はレストランの座席やホテルの部屋といった「場所の確保」を指します。また、動詞 appoint は「～を任命する」という意味で、名詞 appointment とは意味が異なるので注意が必要です。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を心配している」です。be worried about ~は、何か好ましくないことが起こるのではないかと「～について心配している、不安に思っている」という、心配な心理状態を表す表現です。I am worried about my final exams. (私は期末試験のことが心配だ) のように使います。①「～に満足している」は be satisfied with ~、③「～に興味がある」は be interested in ~、④「～に驚いている」は be surprised at ~が対応します。

◆補足：be worried about ~は「心配している」という状態を表します。一方、worry about ~という能動態の形は、「心配するという行為」そのものを指します。例えば、Don't worry about it. (そのことは心配しないで) のように、相手の心配をなだめる際には動詞の原形が使われます。この「状態」と「行為」のニュアンスの違いを理解しておくと便利です。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①の aspect です。aspect は、ある問題、状況、主題などが持つ様々な特徴の一つ、すなわち「側面、様相、見地」を意味します。We must consider every aspect of the problem before making a decision. (決定を下す前に、その問題のあらゆる側面を考慮しなければならない) のように使います。② point は「点、要点」、③ surface は「表面」、④ part は「部分」を意味します。

◆補足：aspect の語源は、ラテン語の ad- (～の方へ) と specere (見る) に由来し、「～の方を見ること」が元々の意味です。このことから、物事のある特定の方向から見たときの「見え方、様相」というニュアンスを持つようになりました。a positive aspect (肯定的な側面) や a negative aspect (否定的な側面) のように、多角的な視点から物事を分析する際によく使われる単語です。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②の draw up ~です。この句動詞は、契約書、計画、リストといった、公式な、あるいは詳細な検討を要する文書を、注意深く「作成する、起草する」という意味で使われます。The lawyer drew up a contract for the new business deal. (その弁護士は、新しい商取引のための契約書を作成した) のように用います。① give up ~は「～をあきらめる」、③ look up ~は「～を調べる」、④ take up ~は「～を始める」という意味です。

◆補足：draw up ~の draw は「線を描く」という意味が基本ですが、そこから「輪郭を描き、詳細を詰めて文書を作成する」というニュアンスに発展しました。単に write と言うよりも、より公式で、慎重に準備する響きがあります。a plan, a contract, a list, a report などが目的語としてよく使われます。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③の help A (to) do です。この構文は、「A（人）が～するのを手伝う、助ける」という意味を表します。Could you help me carry this bag?（このカバンを運ぶのを手伝ってくださいませんか？）のように使います。① make A do は「A に（強制的に）～させる」、② let A do は「A に～させてあげる」、④ have A do は「A に～してもらおう」という意味で、いずれも A に何かをさせる使役動詞の用法ですが、意味が異なります。

◆補足：help A (to) do の構文で特筆すべき点は、目的格補語となる動詞の前に to を置いても、置かなくても（原形不定詞でも）よいという点です。つまり、help me carry と help me to carry はどちらも正しい英語です。これは help 動詞のユニークな特徴で、他の使役動詞や知覚動詞とは異なるため、文法問題で頻繁に問われるポイントです。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③「警告」です。warning は、これから起こるかもしれない危険や問題について、事前に注意を促す言葉やしるし、すなわち「警告」を意味します。The sign on the road was a warning of sharp curves ahead.（道路の標識は、この先に急カーブがあるという警告だった）のように使います。①「言い訳」は excuse、②「提案」は suggestion、④「助言」は advice です。

◆補足：warning は、動詞 warn（～に警告する）の名詞形です。give A a warning（A に警告を与える）や、a warning sign（警告のしるし）、a warning message（警告メッセージ）といった形でよく使われます。advice（助言）が、相手のためを思ってどうすべきかを教える中立的、あるいは肯定的なものであるのに対し、warning は危険や悪い結果を避けるよう注意を喚起する、という切迫したニュアンスを持つのが特徴です。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③の by the end of ~ です。この表現は、「～が終わる時点までには（完了している）」という、行為の完了期限を示します。You must submit your report by the end of this month.（あなたはこの月の終わりまでに、レポートを提出しなければならない）のように使います。①「～の初めに」、②「～の最中に」、④「～の終わりまでずっと（継続）」を意味し、特に④の until との違いが重要です。

◆補足：by と until の使い分けは、英語学習者が間違いやすいポイントです。by は「～までに」という、一度きりの行為が完了する「期限」を表します（例：finish by 5 p.m.）。一方、until は「～まで

ずっと」という、ある状態や行為が継続する「期間の終わり」を表します（例：wait until 5 p.m.）。この違いをしっかりと理解しましょう。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「妊娠している」です。pregnant は、女性や雌の動物がお腹の中に子供や卵を宿している状態、すなわち「妊娠している」ことを表す形容詞です。My sister is six months pregnant.（私の姉は妊娠6ヶ月です）のように使います。①「健康である」は healthy、③「若い」は young、④「結婚している」は married が対応し、いずれも人の状態を表す形容詞ですが意味が異なります。

◆補足：pregnant の名詞形は pregnancy（妊娠）です。妊娠の期間を表すには、She is three months pregnant.のように、期間を前に置きます。また、get pregnant で「妊娠する」という表現になります。これは、妊娠という状態になる（get）というニュアンスを表しています。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③の tool です。tool は、何か特定の作業を行うために手で持って使う「道具、工具」を指します。ハンマー、のこぎり、ドライバーなどがその典型です。He keeps his tools neatly organized in the toolbox.（彼は工具箱の中に工具をきちんと整理して保管している）のように使います。① material は「材料、素材」、② product は「製品」、④ machine は「機械」という意味で、ものづくりに関連しますが、意味は異なります。

◆補足：tool と machine の違いは、tool が比較的単純な手持ちの道具を指すのに対し、machine はエンジンやモーターなどの動力源を持ち、より複雑な構造を持つ「機械」を指す点にあります。また、tool は比喩的に、目的を達成するための「手段」という意味でも広く使われます。For example, the Internet is a powerful tool for communication.（例えば、インターネットはコミュニケーションの強力な手段である）のように使います。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④の consider です。consider は、決定を下す前に、ある事柄について注意深く、時間をかけて考えること、すなわち「～を熟考する、じっくり検討する」という意味の動詞です。We need to consider all the possibilities before we act.（行動する前に、私たちはあらゆる可能性を熟考する必要

がある)のように使います。① **guess** は「～を推測する」、② **forget** は「～を忘れる」、③ **decide** は「～を決定する」という意味です。

◆**補足**：**consider** の後には、目的語として名詞の他に、動名詞（～ing）を続けることができます。

Have you considered changing your job? (転職することを考えたことはありますか?)。これは **to** 不定詞を続けられないため、文法問題で頻出のポイントです。また、**consider A (to be) B** の形で「A を B と見なす」という第 5 文型の用法も非常に重要です。名詞形は **consideration** (考慮) です。
